

-バイオフィルム感染症対策にお役立てください-

細菌感染の80%以上がバイオフィルムを形成します。

通常のMICでは不十分です。

becSCREENでバイオフィルム撲滅濃度を検査してください！

再発性膀胱炎によりbecSCREENを実施、
結果に基づいた抗菌剤投与により治癒した例

Profile

動物種：犬（品種：ラブラドール・レトリバー）
性別：雌
年齢：6歳
体重：23kg



becSCREEN依頼までの経緯

1/5

- ◆頻尿と血尿を主訴に来院
- ◆尿検査の鏡顕にてストルバイトと桿菌を確認
- ◆オルビフロキサシンを2週間分処方

➡改善

4/29, 5/3

- ◆飲水量の増加と尿もれを主訴に来院
- ◆尿検査の鏡顕にてストルバイト, RBC, WBCを確認
- ◆オルビフロキサシンを2週間分処方

➡改善

8/19

- ◆尿検査の鏡顕にてWBCと桿菌を確認
- ◆オルビフロキサシンを8日間分処方

➡改善

9/17

- ◆エコーにて膀胱炎を確認
- ◆おやつの中止を要請するも、なかなか難しい

	尿比重	pH	Pro	尿沈渣
1/5	1.025	≥9	3+	ストルバイト 桿菌
4/29	1.015	7.5	-	ストルバイト
5/3	1.029	7.0	2+	RBC WBC
8/19	1.02	8.5	-	WBC 桿菌
9/17	1.025	≥9	1+	ストルバイト 細菌

抗菌剤の処方で一時的に改善するも再発を繰り返すことから、
バイオフィルムを形成した再発性膀胱炎の可能性を鑑み、

becSCREEN結果の確認

結果一部抜粋

バイオフィルム感受性試験(MBEC) 報告書

becSCREEN™
utilizing InnovoSCEP™ Technology



ラボNo.

動物名

検体受取日

菌種 *Pseudomonas aeruginosa*

グラム 陰性菌

品種 ラブラドール・レトリバー

採材部位 尿

病院名

抗菌剤	MIC ^{※1}	MBEC ^{※2}
アミカシン/アモキシシリン・クラブラン酸	S	S
アミカシン/アンピシリン	S	R
アミカシン/セフタジジム	S	S
アミカシン/クロラムフェニコール	S	I
アミカシン/ドキシサイクリン	S	R
アミカシン/イミペネム	S	R
アミカシン/ミノサイクリン	S	R
アミカシン/オルビプロキサシン	S	I
アミカシン/スルファメソキサゾール・トリメトプリム	S	I
アモキシシリン・クラブラン酸/セフタジジム	S	S
アモキシシリン・クラブラン酸/イミペネム	S	S
アモキシシリン・クラブラン酸/オルビプロキサシン	S	S
アモキシシリン・クラブラン酸/スルファメソキサゾール・トリメトプリム	S	S
アンピシリン/オルビプロキサシン	I	R
アノレプシノリノフルフラマロキサゾール・トリメトプリム	S	R

結果に基づく治療とその後

becSCREENの結果より下記薬剤の投与を開始。

■アモキシシリン・クラブラン酸

- 使い勝手や通院状況を考慮し、経口薬が用意できる薬剤を検討。
- One Healthのために、動物用医薬品として販売されている薬剤から選択。
- 感受性[S]を示す組み合わせに多く含まれるアモキシシリン・クラブラン酸に決定。

投与開始10日後の再診時に尿の不調なし。

バイオフィルム形成を疑いbecSCREENを依頼したことで、

MBECの結果を基にした薬剤選定が可能となり、有効な治療ができた。

(MBEC:最小バイオフィルム撲滅濃度)

becSCREEN 検査について

スワブ付きの輸送用培地を使用して検体を採取し、

依頼書(弊社HPにてダウンロード可)を同封して、**冷蔵便**で送付してください。

検査結果報告までの期間は菌の生育状況によって異なりますが、

およそ**7-10日間程度**お時間をいただいております。

※なお、グラム陰性菌と陽性菌が両方検出された場合には価格の変更がございますので、お電話にてご相談をさせていただきます。

検査キットをご希望の病院様は、お電話 :03-5731-3630 もしくは E-MAIL:sljsupport@slj.co.jp にてご連絡ください。

becSCREEN HP
詳しくは[こちら](#)

